

運動公園の指定管理者に要求した内容について、それぞれ伺いたい。

答

①管理事務所がある施設には救急箱やAEDを設置している。熱中症に対応するための製水機設置は考えていないが、緊急の場合には管理事務所のできる限りの対応を行いたい。②全国大会等選手派遣費補助金交付要項に基づき交付している。③現在市が行っている管理運営について伝えたほか、市民が安心して利用するための、危機管理と緊急時の対応、利用者へのサービス体制の向上、トラブルの未然防止などにも配慮するように求めた。

○その他の質問項目
「PFI事業導入について」

地域活性化について

谷 幸代 議員

緑豊かな農山村でその自然文化、人々との交流を楽しむグリーンツーリズムにおける①本市の現状②今後の取り組み③地域間交流について、それぞれ伺いたい。

答

①地元農業団体等の協力により農業体験、料

理教室の開催や、ふれあい農園の開設、稲作体験の協力をしている。②民間の市民農園開設や観光農園設置の要望に積極的に支援していきたい。③都市住民を対象にした、農業体験の開催および周遊観光について、JA、商工会議所、商工会などの関係団体と協議していきたい。

(農業振興課)

○その他の質問項目

「地上デジタル放送への円滑な移行推進について」ほか

地球温暖化対策について

加賀崎 千秋 議員

問

①壁面緑化事業等の実施状況②温室効果ガスの削減状況③市民への啓発④家庭での削減の指導状況⑤小学生への教育の状況⑥太陽光発電補助の拡大について、それぞれ伺いたい。

答

①本年度六十三の市有施設で壁面緑化に取り組んだほか、百年の森づくり事業の植樹を行った。②現在市域全体のCO2排出量を算定中のため、今後削減状況を把握していきたい。③エコーイフフェアや各種環境教育講座等のほか、市報等でエネル

ギーの使用抑制を呼びかけている。④一日エコライフDAYの取り組みを行っている。⑤六年生のキッズISO一四〇〇入門編の取り組みのほか、中学校では地球環境問題の学習を行っている。⑥現時点では現行制度を継続したいと考えている。

(環境政策課)

○その他の質問項目

「食の自給率及び農業政策向上について」ほか

あつさ対策事業について

新井 宏 議員

問

あつさ対策として実施した市役所駐車場の遮熱性舗装だが、打ち水のほうが経費も安価で効果的ではないか。

答

舗装路面の温度を低下させる方法には、緑陰や遮熱性舗装、保水性舗装、打ち水等がある。市役所駐車場は、場内に散水栓等の設備がなく水の供給が難しいなどの現場条件から遮熱性舗装を選定した。遮熱性舗装は太陽光の赤外線領域を反射することにより舗装内部への蓄熱量を減少させるものであり、打ち水は水蒸気に伴う気化熱に

よって舗装内の熱量を低減させるもので、メカニズムが異なる。今後は、遮熱性舗装の効果について検証を行うとともに、本市の気候や現場条件に応じた実施方法などの検討を進め多角的に検討していく。(維持課)

○その他の質問項目

「地域審議会について」

行財政改革について

その五

大嶋 和浩 議員

問

協働事業提案制度と市場化提案制度のこれまでの取り組みの総括と来年度以降の取り組みについて、どのように考えているのか伺いたい。

答

協働事業提案制度は、市民活動団体と市が相互に提案できる制度で、来年度は四事業の実施に向けて協議を重ねている。今後は市民活動団体がより活発に提案できるように制度の改善を図っている。市場化提案制度は、民間事業者等が公表された事務事業の中から選択できる点や、市と協議を重ねながら提案書を作成できる点など、多くの団体からより良い提案を得ることができると考えて

おり、来年度は事務事業を限定した形での公募を実施し、制度を検証していく予定で準備を進めている。(行政改革推進室)

○その他の質問項目

「中心市街地の活性化について」ほか

農業と商業の連携について

加藤 恒男 議員

問

農業と商業を連携させ地産地消の推進や食育活動を通じて地域環境を整えることは、結果としてまち中の活性化に役立つと考えるが、①その対策②本市における農工商等連携促進法の考え方について、それぞれ伺いたい。

答

①産業祭の開催や熊谷小麦クラスター研究会による熊谷うどんの開発支援を行うとともに、農産物のブランド化やPR等を推進している。今後は、各商店街と生産者団体との連携による販売活動などができるよう働きかけていきたいと考えている。②本市には小麦や野菜などの特産農産物があるので、同法の活用について、農業関係団体と商工会議所、商工会と連携して検討していきたい。